

「導入を視野に調査」

教育長
都議会 L P ガス G H P に言及

東京都議会が12日に開いた定例会の一般質問では、公立学校体育館への空調整備をめぐってL P ガスG H P が取り上げられる場面があった。

自民党の伊藤祥広議員は「体育館の空調化は教育環境の改善だけでなく、災害時の避難所機能を考慮し、電力や都市ガスが途絶しても自立運転

可能なL P ガス空調機導入の適正配置の検討も提案する。大阪府箕面市では避難所活用を考慮し、

都市ガス供給区域にもかかわらず、L P ガス空調機を全小中学校の体育館に導入したと聞く。さらに非常発電機を備えたL P ガス空調機を設置すれば、経産省の燃料備蓄補助金の対象ともなる」と述べ、公立高校・小中学校の体育館へのL P ガスG H P 導入について都

の見解をただした。

答弁に立った都教育委員会の中井敬三教育長は「これまで都立高校の空調機は電気や都市ガスを動力とするものを主に整

備してきた」と認めただけで「L P ガスは都市ガスに比べ、災害時の復旧が早いとの報告があり、電気や都市ガスが寸断されても運転可能な機能を備えた空調機もある。こうしたメリットがあることから、今後は体育館の空調整備を進めるに当たり、電気や都市ガスに加え、L P ガスを動力とする空調機の導入も視野に入れて調査を進めていく。区市町村立学校の体育館への空調設備設置にかかる都の補助制度ではL P ガス空調機も対象としている」と述べた。